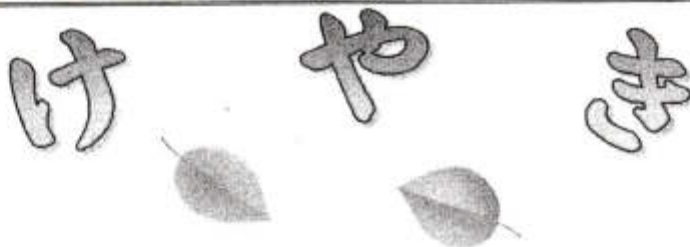


令和7年度



学校だより



発行

令和8年3月25日

No.11

川崎市立南生田中学校

1年間の「足跡」を糧に

三寒四温の言葉通り、春の訪れを感じる季節となりました。

3月11日に第47回卒業式が無事に終わり、153名が南生田中学校から旅立っていきました。凛とした空気の中、1人ひとりに手渡した証書。その重みを受け止める卒業生たちの真っすぐな瞳に、この3年間で積み上げた確かな自信と覚悟を感じ、胸が熱くなる思いでした。最上級生がいなくなった校舎は、どこか寂しさを漂わせていますが、彼らが残してくれた「伝統」というバトンは、今しっかりと在校生へと引き継がれています。卒業生が歩んだ軌跡は、本校の誇りであり、後輩たちの道しるべです。

卒業式式辞から・・・

皆さんが卒業を迎えた先月、イタリアの地で開催されたミラノ・コルティナ冬季オリンピックが閉幕されました。今回の大会のスローガンは「Dreaming together (ともに夢を見る)」そこには激しい競争の仲であっても、互いを尊重し、未来を共に創ろうとする強い意志が込められていました。これから新しい世界へ踏み出す皆さんに、2つの大切な言葉をオリンピックのエピソードと共に贈ります。

1つ目は「自律」です。オリンピックの舞台に立つ選手たちは、華やかなスポットライトの裏で、孤独で過酷な練習を積み上げてきました。「自分がどうありたいか」という志を持ち、自らを律して氷雪の上に立ち続けたのです。皆さんが踏み出す世界は、予測困難のことが多いかもしれません。正解のない「問い」に直面する場面が出てくるかも知れません。そんな時、自分の足で立ち、自分の責任で一步踏み出す。周囲の環境がどう変わろうとも、自分のぶれない軸を持ち、自分に何ができるのかを考え、行動する。本校で培った「自ら学ぶ姿勢」こそが、皆さんの進むべき道を照らす光となります。

2つ目は「共生」です。ベテラン選手が若手を支え、敗者が勝者を称える姿が、競技を終えた選手たちが国境を越えて、互いの健闘を讃え合う姿がありました。メダルという結果以上に、そこに至るまでの過程と共に高め合う「仲間」の存在がいかに尊いか。皆さんが授業や行事、委員会活動、部活動や異学年交流などの場面で、自分とは異なる意見を持つ友と対話し、1つのものを作り上げた経験は、将来皆さんが広い世界へ出たときに、必ず大きな力となります。また、学校生活のいろいろな場面で、自分自身の輝きを追求するだけでなく、仲間を光を当て、その個性を輝かせる力を発揮してくれました。仲間を思いやり、支え合う心こそ、まさに「共生」の精神そのものです。どうかこれからも、人と人とのつながりを大切に歩いていってください。(一部略)

この1年間本校の教育活動に対して、保護者の皆さまならびに地域の皆さまからの多大なるご理解とご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

しゅううん 翔雲～未来へはばたく50年～

令和9年に本校は創立50周年という大きな節目を迎えます。

1月の中央委員会で各学級委員に説明があり、多くの意見をクラスで絞り、中央委員会で3つに絞られました。そして3月6日3年生を送る会にて投票を行い、テーマが決定いたしました。

4月の主な行事予定

- 3月26日(木)～4月5日(日) 春季休業
- 6日(日) 始業式・入学式
- 11日(土) 授業参観・SNS被害防止講演会(保護者向け)・修学旅行保護者説明会・学級懇談会
- 16日(木) 部活動仮入部開始
- 23日(火) 全国学力・学習状況調査